



# 落五便り

10月号

新宿区立落合第五小学校

## 表現力豊かに

副校長 湊 仁

9月8日早朝、2020年のオリンピック開催地が東京に決まり、日本中が歓喜の渦に包まれました。

今回の招致活動で決め手となったのは、これまでの地道な努力もさることながら、最終アピールとして行われた、日本のプレゼンテーションの素晴らしさではなかったでしょうか。

これまで日本は、プレゼンテーションをあまり重視してきませんでした。今回は、前回の五輪招致落選の経験を生かし、一人一人のプレゼンターがそれぞれの持ち味を生かし、表現力豊かに説得力のあるプレゼンテーションを披露したのです。

その中の一人、滝川クリステルさんが、日本の伝統的作法「おもてなし」を素敵なフランス語で紹介しました。しかし、今まで私たちが美徳としてきた「ひかえめ」「おくゆかしい」「謙虚」などの日本人の伝統的な心構えは、国際的な社交の場では、「消極的だ、意欲がない」などと解釈されることもありました。日本の美徳が場合によってはマイナス要素になりうるということにも気づかされてきたのです。

英国をはじめ欧米の多くの国では、幼い頃から自分の大切なものを教室に持参させ、みんなの前で話す「ショー・アンド・テル (show-and-tell)」、プレゼンテーション、役割を決めた上でのディベートなどに力を入れています。必要な時に自分の考えをもち、わかりやすく説得力をもって相手に伝える。これは小さい時から訓練されていないとそう簡単にできるものではありません。

本校でも表現力を高めようと、授業や行事等の中で、発言する場を増やしたり、発表する機会を設定したりしています。

日本人の美徳を育みながらも表現力豊かな子に育ってほしいと思います。

日	曜	10月の行事予定
1	(火)	都民の日 移動教室(6年)2日目 *
2	水	移動教室3日目
3	木	安全指導日
4	金	図書委員会発表、避難訓練
5	(土)	
6	(日)	
7	月	全校朝会
8	火	
9	水	外国語活動
10	木	委員会活動
11	金	
12	(土)	*避難所開設訓練
13	(日)	
14	(月)	体育の日
15	火	全校朝会
16	水	外国語活動
17	木	かがやき班活動、クラブ活動
18	金	音楽朝会
19	(土)	*ジョイントコンサート(落二中) 落五小金管バンド参加
20	(日)	
21	月	全校朝会
22	火	全校遠足(給食無、弁当)
23	水	研究授業(1年) 1年以外4時間授業
24	木	全校遠足予備日(給食無、弁当)
25	金	委員会紹介集会
26	(土)	
27	(日)	
28	月	全校朝会
29	火	
30	火	外国語活動
31	水	社会科見学(3年)、給食試食会 クラブ活動

\*10月1日都民の日は、6年生は移動教室2日目です。  
1年生～5年生は、お休みとなります。

生活目標：物を大切にしよう。  
保健目標：目を大切にしよう。  
給食目標：すききらいなく何でも食べよう。

## おとめ山公園 ザリガニ釣り

### 2年1組担任 永井 大輔

2年生は生活科で「生きものなかよし大作せん」の学習をしました。ねらいは、次の3つです。

- 生き物を採集し、飼育や観察を通して関心をもつ。
- 生き物を飼育し、特徴や成長での変化などに気付く。
- 生き物への親しみをもち、小さな命を大切にする。

対象とする生き物はザリガニです。おとめ山公園に1年生と合同でザリガニ釣りに行くことにしました。事前に、ザリガニの捕まえ方を、名人（武藤教諭）から教わりましたが、2年生は昨年も経験しており、すでに自信があるようでした。自慢げに1年生に釣竿の作り方やえさの付け方を教えてあげながら、ザリガニ釣りへの意欲を高めていました。

当日は、天候にも恵まれ、絶好のザリガニ釣り日和となりました。おとめ山公園に到着すると早速、池に糸を垂らし始めました。するとすぐにザリガニが寄ってきて、子どもたちからは歓声が上がりました。「石のかげにいるよ」「えさをつかむまで待つんだよ」と友だちと声を掛け合いながら夢中になって釣りを楽しみました。



子どもたちの振り返りでは、「石のそばで糸を垂らしたら、すぐに釣れたよ」「餌の種類で釣れやすさが変わることがわかった」「大切に育てたい」「1年生と一緒に楽しかった」など釣りを工夫したことやこれからの飼育に対する意気込みを感じました。また、普段は少人数で過ごしている2年生ですが、1・2年生合同で取り組んだことで、集団の中にいる意識も芽生え、協力や教え合いの場面も多く見られました。

その後、自分たちで捕まえたザリガニの飼育が始まりました。毎日のお世話を通し、水替えやえさやりの大変さを体験し、少しずつ成長していく命に関心を抱くようになり、とても大切に育てています。

また、子どもたち同士で教え合い学び合う姿が見られたことも成長した姿です。一つ一つの学習を通し、これからも子どもたちの成長を楽しみにしています。

## 全校遠足

### 担当 鈴木 智子

全校遠足を次の通り実施します。

○日時・場所 10月22日・井の頭公園

\*雨天 24日に延期 延期の場合は、

当日朝7時00分頃一斉メールでお知らせします。

○活動内容

- ・公園、動物園内でのオリエンテーリング
  - ・かがやき班ごとの昼食(お弁当)、遊びなどの活動
- 電車を利用しますので、乗り物や公共施設でのマナ

ーを守らせ、友達と協力しながら、安全に楽しく活動させたいと思います。

詳しくは、後日配付するしおりをご確認ください。

## 「かがやき班は第2のクラス」

### 特別活動部主任 武藤真純

本校は単学級ですので、とすれば子どもの集団が固定しがちです。そこで、異年齢の縦割り班活動を「かがやき班活動」と名称を明確にし、積極的に縦割り活動を行うことにしました。同級生のみならず様々な年齢の友達と交流し、集団の中での役割が広がり、子ども同士の交流が深まってきています。

今年度はこれまでの活動に加え、作品展でお互いの作品を見合っ「いいねカード」で伝えたり、かがやき給食、地域清掃、読み聞かせをしたりするなど、生活や学習の場にもその活動を広げています。

また、6年生による班長会を組織し、定期的に話し合う中で、かがやき班を高めようとする意識も芽生えてきました。そんな6年生を見て、下の学年の子どもたちも「ああいうお姉さんやお兄さんになりたいなあ」と頼りにしています。様々な場面をとらえて、かがやき班活動のよさを生かすために本年度は「かがやき班は第2のクラス」を合言葉に取り組んでいます。

今月のかがやき遠足に向けて、楽しみながら取り組みを始めています。

## 読書の秋到来です。

### 図書担当 尾崎 美保子

日頃から本が大好きな落五の子どもたちですが、より一層本に親しみ、読書の楽しさを味わえるように、10月15日(火)から11月1日(金)までの3週間を落五小の読書週間と位置付け、様々な取り組みを計画しています。その中から二つ紹介します。

一つ目は、全教員による読み聞かせです。普段は担任や図書スタッフ、図書ボランティアの方による読み聞かせを経験している子どもたちですが、校長や副校長、専科の教員も入って、担任以外の教師から読み聞かせをしてもらいます。今年は何の教師に、どんな本を読んでもらえるのかを、子どもたちも楽しみにしているようです。

二つ目は、5、6年生一人一人による下級生への読み聞かせです。5、6年生が自分で本を選んで練習を重ね、かがやき班の下級生に読み聞かせをします。これは今回が初めての試みですが、縦割り班活動を大切にする本校の取り組みの一環でもあります。5、6年生が下級生のためにどんな思いを持って工夫していくのか、今から期待をしています。

その他にお勧めの本の紹介カード作りや、図書スタッフによるブックトークなども予定しています。ご家庭でもぜひ、親子で読書の秋を楽しんでみてください。